

競争的な水素等サプライチェーン構築に向けた技術開発事業

令和6年度概算要求額 86億円（80億円）

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
水素・アンモニア課

事業の内容

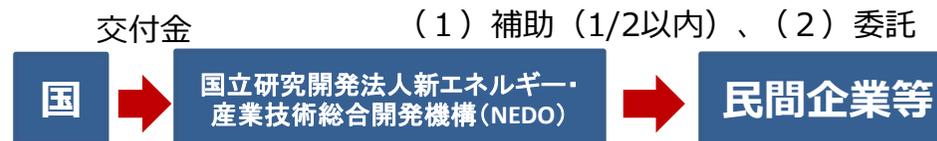
事業目的

安定的で安価な水素等の供給基盤を確立するため、水素を製造・貯蔵・輸送・利用するための設備や機器、システム等（タンク、充填ホース、計量システム等）の更なる高度化・低廉化・多様化につながる研究開発等を支援するとともに、規制改革実施計画等に基づき、一連の水素等サプライチェーンにおける規制の整備や合理化、国際標準化のために必要な研究開発等を行うことを目的とする。

事業概要

- ①国際水素等サプライチェーン（液化水素運搬船による海上輸送技術等）
- ②国内水素等サプライチェーン（水素導管による陸送技術等）
- ③水素ステーション（水素充填技術等）
- ④共通基盤（水素に適した鋼材等）の4つの分野において、以下の取組を行う。
 - （1）水素関連技術の高度化等につながる研究開発等
水素関連設備の大型化やコスト削減、新たな水素需要の広がりに対応した水素供給インフラの整備などを支援する。
 - （2）規制適正化・国際標準化のために必要な研究開発等
規制改革実施計画等に基づき、研究開発が必要な項目について、安全性を前提としつつ、規制の合理化・適正化を行う。また、水素技術に関連した研究開発事業と連携し、ISO規格等の提案に結びつける検討を進めるとともに、国際標準化に必要なデータ取得を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



液化水素運搬船による海上輸送技術等の研究開発



FH2Rを基盤とした水素に関する実証研究促進



出典：東芝エネルギーシステムズ（株）

成果目標

- 令和5年度から令和9年度までの5年間の事業であり、最終的には、
- ①グリーンイノベーション基金事業（大規模水素サプライチェーンの構築）の更なる高度化・多様化を実現すること
 - ②令和7年頃に水素供給設備整備事業費補助金における固定式オフサイトステーション(300Nm³/h)の整備コストの平均を低減すること
 - ③令和9年度までに規制改革実施計画等に基づいた規制見直しを84件措置することを目指す。